

●調査の目的

第4次湖南省障がい者計画、第8期障がい福祉計画、第4期障がい児福祉計画策定に必要な基礎資料を収集するため、令和7年度にニーズ調査を実施しました。障がいのある人が地域で自立して生活できる環境整備方策の検討に活用していきます。

●ニーズ調査の対象者

令和7年11月1日現在の以下の区分により無作為抽出を行いました。

区分	人数	回答数（人）			回答率 %	備考
		紙	WEB	合計		
障がい児（18歳未満の保護者）	250人	52	73	125	50.0	・手帳所持者の保護者 ・サービス受給者の保護者
障がい者（18歳以上当事者）	750人	281	131	412	54.9	・手帳所持者 ・サービス受給者 ・難病患者含む
一般市民（18歳以上）	1,000人	217	153	370	37.0	
合計	2,000人	550	357	907	45.3	

●ニーズ調査の実施方法

調査方式は、紙およびインターネット回答の併用とし、令和7年12月に対象者に郵送しました。情報へのアクセシビリティを配慮し、18歳以上当事者用調査は音声コード（ユニボイス）対応を行い、調査内容を音声で聴きくことができるようにしました。

●ニーズ調査の項目

経年比較により、ニーズの変化や課題解決を図ることができたかを把握するため、前回（中間見直し・令和4年度）および前々回（本計画策定時・令和元年度）の調査を基本に調査項目の見直しを行いました。次期計画の施策評価、サービス見込み量の算定の検討に活かせる調査項目として、設計しています。また、国の方針・法改正に応じた設問を追加し、新たな課題への対応を検討するための実態把握ができるものとなりました。

●ヒアリング調査

ニーズ調査とは別に、令和8年1月には市内当事者団体（12団体）のうち、回答をいただいた10団体の代表者と対面によるヒアリング調査を実施し、より身近な意見を聞く機会を持ちました。また甲賀福祉圏域の障がい福祉事業所（61事業所）に対して、サービスを提供する上での課題などについて、紙面による調査を行いました。